

科学技術研究調査実績評価に当たっての留意点等  
(平成 20 年 3 月 7 日ヒアリング用)

- 1 統計局の作業実施スケジュールは怎么样了なっているか。
- 2 サービスの質の達成状況について、どのように認識しているか。
- 3 コストの内容について、どのように認識しているか。課題があったと考えているか。課題があったとすれば、それを 20 年度以降の事業にどのように生かそうと考えているか。  
※ 実施経費が見積もりを大幅に上回ったと聞いているが、それについてどのように考えているか。
- 4 今回の事業において、民間事業者の創意工夫はどのように発揮されたのか。
- 5 民間事業者の実施状況と、実施要項において情報開示されている従来の実施状況等を比較考量しているか。
- 6 統計局の業務量は、前年度と比較してどうだったのか。その増減を具体的に示すべきではないか。
- 7 統計局と民間事業者との連絡調整等は問題なく行われたか。その連携に課題があったとすれば、それを 20 年度以降の事業にどのように生かそうと考えているか。
- 8 そのほか、モニタリングのあり方等も含め、今回の調査を受けて 20 年度以降の事業に生かすべきことはあるか。

(注) 科学技術研究調査については、平成 19 年 12 月に、平成 19 年度事業における回収率、照会対応・督促業務の状況等について統計局から監理委員会に報告を受け、その報告も踏まえ、平成 20 年度以降も民間競争入札を実施することについては問題ないと整理したところ。